iPhone
スマートフォン初心者編

アプリ紹介



アプリ紹介

目　次



１．カメラを使ったアプリ

1-A カメラアプリ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P4
1-B 写真アプリ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7
1-C Seeing AI(シーイングエーアイ) ・・・・・・・・・・・・ P10
1-D Sullivan+（サリバンプラス）・・・・・・・・・・・・・・・ P12
1-E Vip（ビップ）コードリーダー ・・・・・・・・・・・・・・ P13

２．便利なアプリ

2-A マップ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P15
2-B radiko(ラジコ) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P16
2-C Podcast(ポッドキャスト) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P17
2-D ボイスメモ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P18

1

カメラを使ったアプリ



1-A カメラを使ったアプリ
カメラアプリ

目が見えない、見えにくいとカメラの使用が難しいと考えがちですが、ＱＲコードや文字認識による文章の読み取りなど、視覚障害者でもカメラを利用する機会は多くなってきています。

❶ Siriを起動して「カメラを開いて」と声をかけます。

※ カメラアプリから開くことも可能です。

※ カメラアプリはロック画面（パスコード認証する前の画面）からジェスチャー操作で開くことも可能です。



カメラモード

❷ タッチやスワイプで「カメラモード」を探し、上下のスワイプでビデオやカメラを切り替えます。

※ カメラモードについては次ページに記載

❸ ２本指でダブルタップし写真を撮影します。ビデオは、録画の開始も停止も２本指でダブルタップします。

カメラアプリ使用中にVoiceOverを使用していると「左に傾ける」といったように、カメラの水平を保つためのサポート音声や、人物が何人フレームに入っているかといったことを教えてくれます。

写真やビデオの撮影に、シャッターの代わりとして音量ボタンが利用できる場合があります。

画面右下のカメラセレクタを選択し、ダブルタップすると、前面と背面のカメラを切り替えることが可能です。

1-A カメラを使ったアプリ
カメラアプリ

カメラアプリのカメラモードは全部で７つあります。

写真	カメラアプリを起動すると最初に選択されるモードです。被写体に合わせて、オートフォーカスで自動的にピントを合わせて、露出の調整までしてくれます。
ポートレート	カメラに写る人物を自動で判定して背景をぼかします。背景から人物を際立たせた写真が撮れます。※人物以外が対象の場合は通常の写真として撮影されます。
スクエア	カメラの画面枠が正方形に固定されます。FacebookやInstagramをはじめとした多くのSNSなどで使用されるサイズで写真を撮ることが可能です。
パノラマ	カメラをゆっくりと動かして広角のパノラマ写真撮影が可能です。 ※カメラの高さを保つための補助や動かす速度の補助がありますが、音声化されていません。
ビデオ	動画撮影専用のモードです。通常のビデオ動画を撮影します。
タイムラプス	動画撮影専用のモードです。2倍速のビデオ動画を撮影します。
スロー	動画撮影専用のモードです。0.5倍速のビデオ動画を撮影します。

1-A カメラを使ったアプリ
カメラアプリ

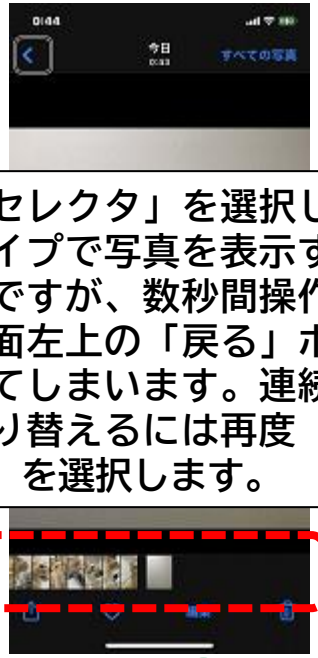
撮影した写真やビデオは、カメラアプリ内の左下にあるビューアを選択するか、写真アプリから確認することができます。このスライドではビューアでの写真閲覧方法について説明します。

❶画面左下の「ビューア」を選び、ダブルタップします。



「写真およびビデオビューア」と音声では言います。

❷画面中央付近の「写真」と読む箇所を選択し、３本指で左右にスワイプして写真を切り替えます。



「写真セレクタ」を選択して、上下スワイプで写真を表示することも可能ですが、数秒間操作しないと、画面左上の「戻る」ボタンに移動してしまいます。連続して写真を切り替えるには再度「写真セレクタ」を選択します。

❸写真を削除したい場合は、削除したい写真を表示した状態で、タッチやスワイプで画面の右下の削除ボタンを選択してダブルタップします。警告メッセージが流れた後、再び写真を削除でダブルタップします。



1-B カメラを使ったアプリ 写真アプリ

写真アプリには月別や日別など写真を探しやすく表示するライブラリ機能など、カメラアプリのビューアにはない機能があります。



カメラアプリの画面下部にタブバーと呼ばれる場所があり、４つのボタンが並んでいます。タッチやスワイプでボタンをダブルタップするとそれぞれ対応したページが開きます。
左からライブラリ、For You、アルバム、検索の順で配置されています。

ライブラリ	年別や月別、日別、撮影した写真や動画を、範囲を決めて絞り込んで探すことができます。
For You	これまでに撮影された写真やビデオの中からiPhoneが自動で作成したアルバムなどが表示されます。
アルバム	最近の項目やダウンロードなどフォルダによって写真が管理されています。
検索	犬や猫、アイスクリームなどのキーワードを入れて検索すると保存された写真内から該当する写真を表示してくれます。

※ 写真アプリやカメラアプリのビューア閲覧時に、タッチやスワイプで写真やビデオを選択した際に読み上げるのは日付のみになります。

1-B カメラを使ったアプリ 写真アプリ

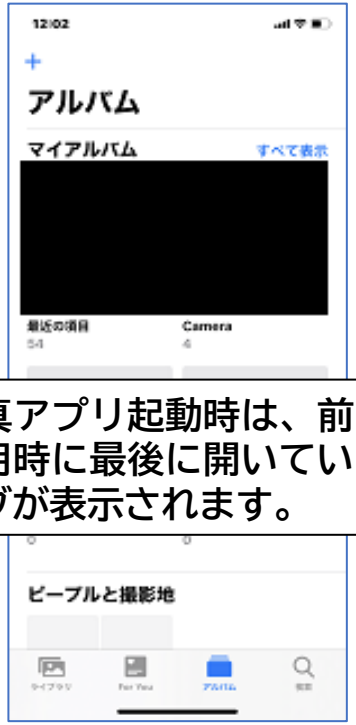
写真アプリのライブラリの基本的な操作方法です。

❶ Siriを起動して「写真を開いて」と声をかけます。

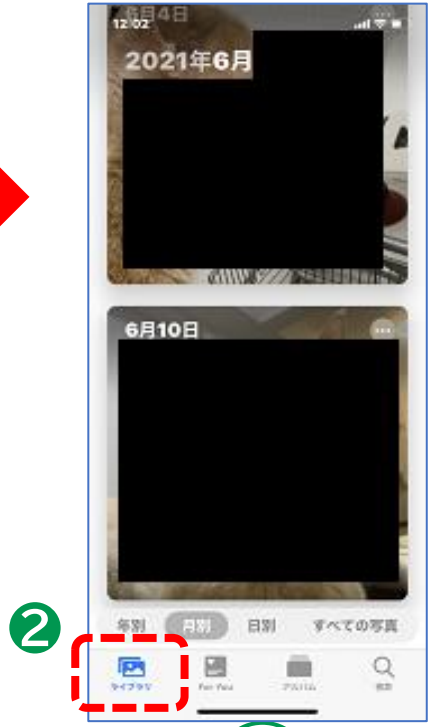
❷ タッチやスワイプで画面下部のタブバーの中からライブラリを選択し、ダブルタップします。

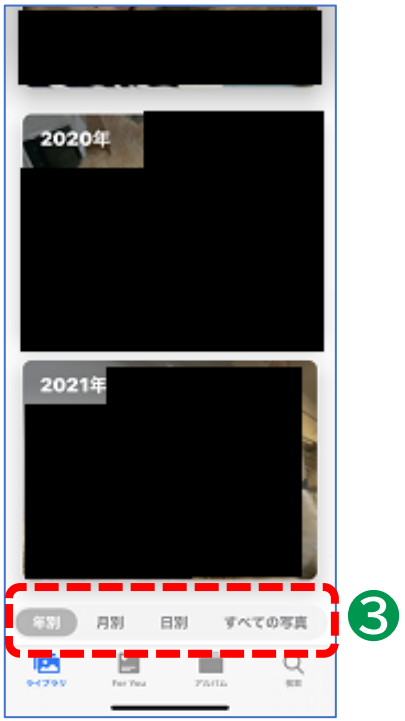
❸ タッチやスワイプでタブバーの少し上にある「日付の範囲」を選択し、上下のスワイプで年別や月別を切り替えます。

写真アプリはホーム画面からジェスチャー操作でも開けます。



写真アプリ起動時は、前回使用時に最後に開いていたタブが表示されます。





1-B カメラを使ったアプリ 写真アプリ

写真アプリのライブラリの基本的な操作方法です。

❹ タッチやスワイプで目的の年月や日付を選択し、ダブルタップします。

年月や日付の後に見出しと読む所では先に進めません。年月の後に写真やビデオと読み上げるかの確認が必要です。



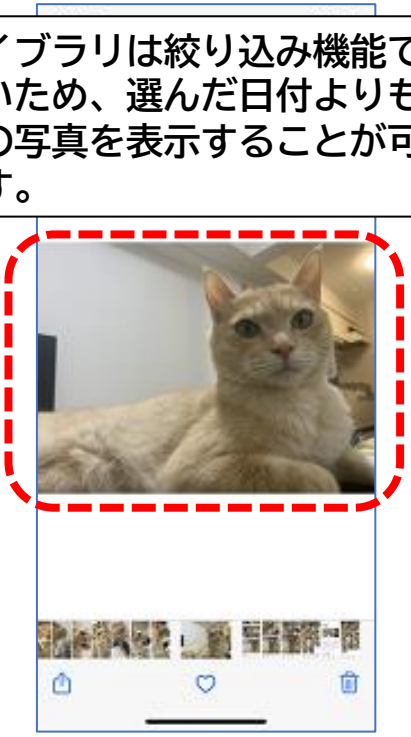
❺ 年、月、日と詳細に向かって進みますが、最終的に選んだ日付の写真が表示されます。



この手順まで進むと、カメラアプリのビューアでの閲覧と同じ画面表示になります。

❻ 画面中央付近の写真と読む箇所を選択し、３本指で左右にスワイプして写真を切り替えます。

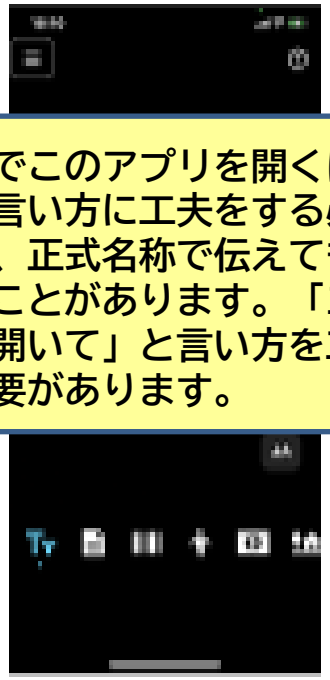
ライブラリは絞り込み機能ではないため、選んだ日付よりも前後の写真を表示することが可能です。



1-C　カメラを使ったアプリ Seeing AI(シーイングエーアイ)

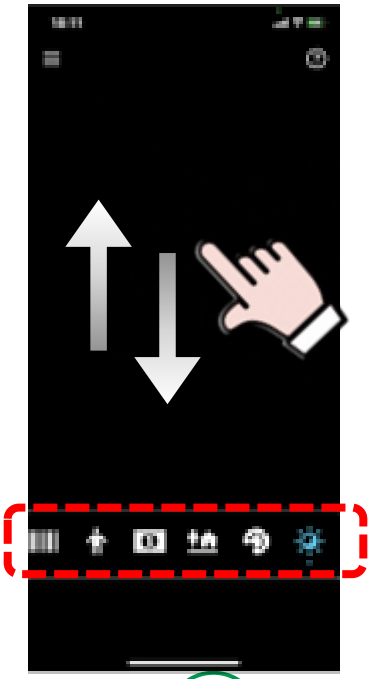
マイクロソフトが開発した無料のアプリで、画面下部チャンネルを選択し、上下のスワイプで切り替えることで多彩な機能を利用できます。
※ ダブルタップや音量ボタンでの撮影はできません。

❶ タッチやスワイプでホーム画面から「Seeing AI」を探して、ダブルタップします。

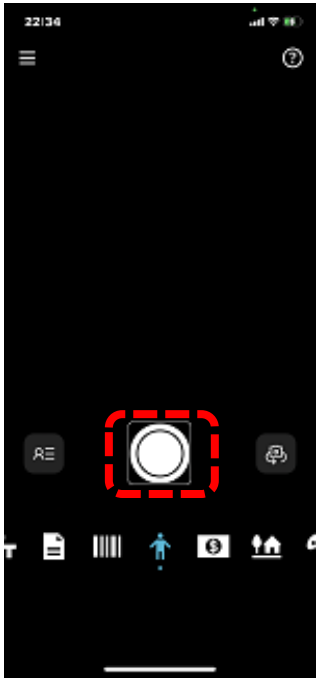


※Siriでこのアプリを開くには、発音や言い方に工夫をする必要があり、正式名称で伝えても開けないことがあります。「エーアイを開いて」と言い方を工夫する必要があります。

❷ タッチやスワイプで画面下部のチャンネルを選択し、上下のスワイプで機能を切り替えます。



❸ 人物やシーンプレビューなど撮影が必要な機能では撮影ボタンを選択し、ダブルタップします。



1-C カメラを使ったアプリ Seeing AI(シーイングエーアイ)

各チャンネルの機能は以下の通りです。
※ カメラの撮影時は画面内の撮影ボタンしか利用できません。

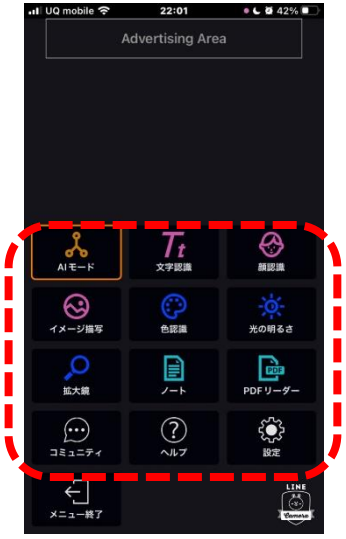
短いテキスト	読んでほしい対象にカメラを向けると読み上げます。 撮影の必要がなく封筒の宛名などを読むのに便利です。
ドキュメント	書類など長めの文章を読むのに適しています。 撮影対象がカメラ内にすべて入ると自動で撮影されます。
製品	カメラを向けた商品のバーコードを読み上げる機能です。 ※すべての商品を読み上げるわけではありません。
人物	カメラを向けるとカメラに映る人物とのだいたいの距離を教えてくれます。カメラで撮影するとだいたいの年齢や恰好を教えてくれます。
通貨	カメラを向けると紙幣の認識をして教えてくれます。
シーンプレビュー	カメラで撮影するとカメラに映った家具などを教えてくれます。
色	カメラを向けるとカメラに映った色を教えてくれます。
ライト	周りの明るさを音の高低で教えてくれます。

1-D　カメラを使ったアプリ Sullivan+(サリバンプラス)

文字認識を得意とする視覚障害者向けカメラ読み取りアプリです。

機能：「 AI(エーアイ)モード」「文字認識」「顔認識」「イメージ描写」「色認識」「光の明るさ」「拡大鏡」
※ AIモードは、カメラで写した内容が物体なのか、文字なのか、色なのかといった情報をすべて自動で認識し内容をVoiceOverで読み上げます。

初期設定では、アプリを開くとエーアイモードが選択されるようになっています。画面の左下の「メニュー画面」をダブルタップすると、表示モードを選択することで切り替えられます。



基本操作は、画面の下側中央にある「キャプチャー」をダブルタップするか、本体側面の音量アップ・ダウンボタンで撮影すると、簡易な音楽が聞こえて、すぐに認識結果を読み上げます。名刺のような小さな紙から書面のＡ４サイズまで高精度に認識できます。

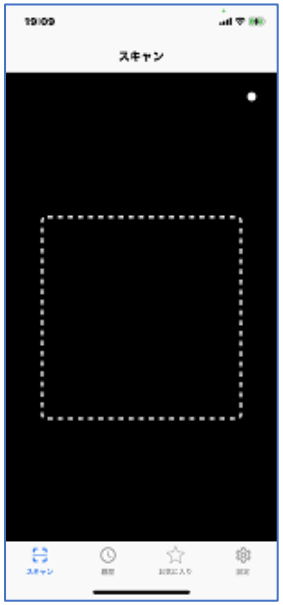
設定により、アプリを開いた直後のモードを優先的に「文字認識」にすることができます。



1-E　カメラを使ったアプリ VIP（ビップ）コードリーダー

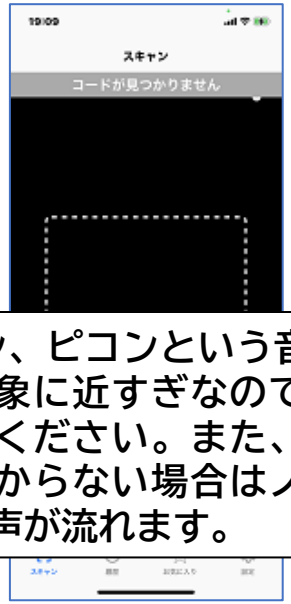
視覚障害者のために開発されたＱＲコードを読み取るアプリです。カメラと撮影対象との距離は音の間隔の長短で、ＱＲコードが見つからない場合は音声で教えてくれます。

❶ Siriを起動して「ビップコードリーダーを開いて」と声をかけます。



ホーム画面からジェスチャー操作でも開けます。

❷ 書類や葉書、パンフレットなどにiPhoneのカメラを向けてＱＲコードを探します。



※ ピコン、ピコンという音の間隔が早いと対象に近すぎなので、カメラを離してください。また、ＱＲコードが見つからない場合はノーコードという音声が流れます。

❸ ＱＲコードを読み取ることができたら、対象のホームページが表示されます。



表示されたホームページは、safariと同じようにタッチやスワイプで操作が可能です。

2

便利なアプリ



2-A 便利なアプリ マップ

経路や公共交通機関の時刻を調べたりと視覚障害者でもマップアプリは活用できます。ここでは、初めから入っていてSiriでも利用できるマップアプリを紹介します。

1. Siriで「〇〇までの経路を調べて」と尋ねるとマップアプリで経路候補が表示されます。
2. 画面下部を１回タッチしてからスワイプで経路候補（到着時間や利用公共交通機関を読み上げます）を確認し、良さそうな候補があればダブルタップします。
3. 経路詳細が表示されるので、タッチやスワイプで詳細を確認します。ここでは電車などの乗り換え時間などを確認できます。
4. 画面右上の完了ボタンをダブルタップすると、再度経路一覧に戻れます。





ヒント

- ❶の手順では建物名や住所などを伝えます。
- ナビを起動したい場合は、選択したい経路候補から右スワイプで一つ進んだ出発ボタンでダブルタップします。
- 徒歩のみのルートの場合は、経路候補を選んでダブルタップした直後にナビが開始します。

2-B 便利なアプリ radiko(ラジコ)

radikoアプリをインストールするとiPhoneでラジオのインターネット放送を楽しむことができるようになります。電波状況に左右されずクリアな音声で聞くことが可能です。

❶ Siriを起動して「ラジコを開いて」と声をかけます。

ホーム画面からジェスチャー操作でも開けます。



❷ タッチやスワイプで聞きたい番組名を探し、ダブルタップします。





ラジコでは一部、左右のスワイプだけでは移動できない箇所があるため、ローターをコンテナに切り替えて、上下のスワイプを利用すると便利です。

❸ 自動でラジオが流れ出します。再生を停止したい場合は２本指でダブルタップします。



❹ 番組選択画面に戻りたい場合は、画面左上の戻るボタンをダブルタップします。

2-C 便利なアプリ Podcast(ポッドキャスト)

Podcast(ポッドキャスト)は初めからインストールされているアプリです。インターネットラジオや放送局のラジオ番組の録音放送などを聞くことが可能です。

❶ 番組名が分かる場合はSiriを起動して「PodcastでNHKラジオニュースを流して」のように声をかけます。

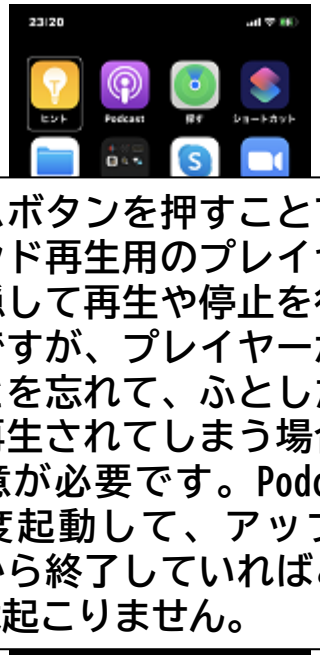


❷ すぐに再生が始まります。再生を停止する場合は、画面上を２本指でダブルタップします。



SiriでPodcastの番組を再生した場合、アプリは開かずに、バックグラウンド再生用のプレイヤーが使用されます。

❸ 完全に終了するには、アップスイッチャーから終了を行います。



ホームボタンを押すことでバックグラウンド再生用のプレイヤーを画面から隠して再生や停止を行うことが可能ですが、プレイヤーが動いていたことを忘れて、ふとしたタイミングで再生されてしまう場合があるため注意が必要です。Podcastアプリを１度起動して、アップスイッチャーから終了していればこういったことは起こりません。

2-D 便利なアプリ ボイスメモ

ボイスメモは初めからインストールされているアプリです。ICレコーダーのように録音や再生が可能です。※通話中など、他のアプリでマイクを使用中には利用できません。

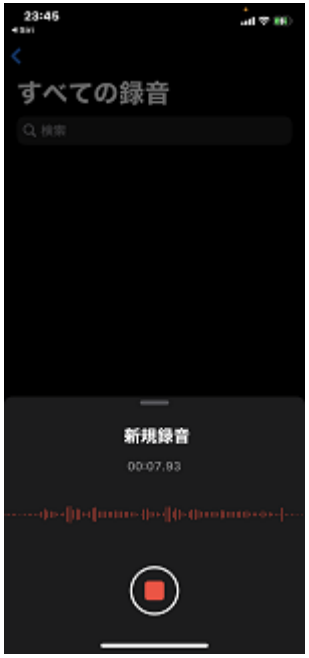
❶ Siriを起動して「ボイスメモを開いて」と声をかけます。

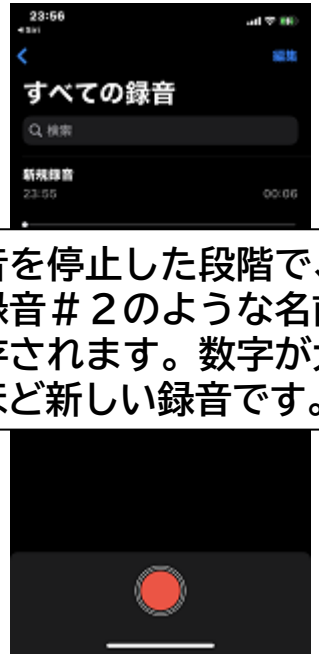
❷ 画面上を２本指でダブルタップして録音を開始します。

❸ 画面上を２本指でダブルタップして録音を停止します。

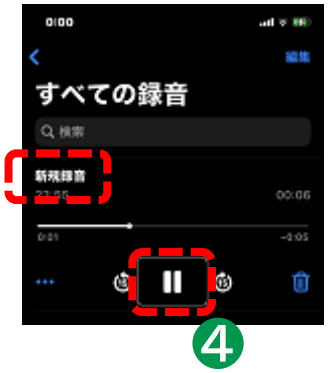
❹ タッチやスワイプで画面中央付近の再生ボタンを探し、ダブルタップすると録音した内容を確認できます。







録音を停止した段階で、新規録音＃２のような名前で保存されます。数字が大きいほど新しい録音です。



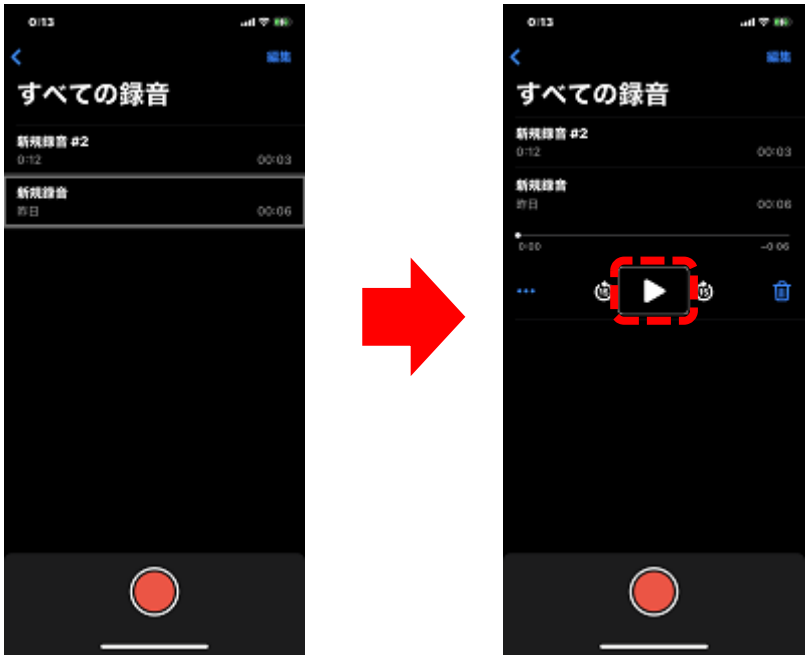
新規録音と読む所でダブルタップすると、録音データのタイトルの編集が可能です。

2-D 便利なアプリ ボイスメモ

ボイスメモの再生は以下の方法で行います。

❶ Siriを起動して「ボイスメモを開いて」と声をかけます。

❷ 右スワイプで再生したいメモのタイトルを選び、ダブルタップします。



❸ タッチやスワイプで再生ボタンを選び、ダブルタップすると録音データが再生されます。

ボイスメモではメモ一覧や各メモの再生ページを表示していても、２本指でダブルタップすると新規録音が開始されますので注意が必要です。

ボイスメモの削除は以下の方法で行います。

❶ Siriを起動して「ボイスメモを開いて」と声をかけます。

❷ 右スワイプで削除したいメモのタイトルを選び、上下のスワイプで削除に合わせた後にダブルタップします。